



## 緩和ケアセンター新メンバー ご紹介



### 緩和ケアセンター長

血液内科医師

大野 裕樹

令和5年度5月より緩和ケアセンター長を拝命しました副院長の大野裕樹です。地域がん診療連携拠点病院である当院の緩和ケアセンターとしての使命は地域のお手本となる緩和ケアを多職種で連携しながらいつでも、どこでも、誰にでも全人的に行うことです。当院の緩和ケアチームと関わってよかったと思われるようなセンターにしていきたいと思えます。緩和ケアが必要な全ての患者さん及びご家族に安心して過ごしていただけるよう全力を尽くす所存です。



### 精神科医師 生嶋 孝太郎

前任の大橋医師より引き継ぎ4月より緩和ケアチーム（PCT）に所属しております、医師の生嶋です。普段は市中の精神科クリニックで勤務しております。PCTカンファレンスにて、精神・メンタル面でのサポートや提言ができればと考えています。患者さんとその御家族のお役に立てるよう取り組んでいきたいと思えます。よろしくお願ひします。



### 看護師 中村 かおる

4月から緩和ケアセンターで勤務しています。目まぐるしく2ヶ月が過ぎていく中で、エンド・オブ・ライフ・ケアの重要性を強く感じます。症状緩和によりQOLを最期まで最大限に保ち、その人にとってよい死を迎えられるよう、ご家族も含め思いを聞き、繋げていくことを大切に心掛けています。最期を迎える直前に後悔せず納得して穏やかに過ごせるようにACPIに関わりながら、一人ひとりと向き合っていくことが今の私の役割だと思っています。緩和ケアチームの皆さんに支えてもらいながら、患者さんが「ここに通って本当に良かった。」と苦痛の中でのオアシスのように感じていただけるよう精一杯頑張ります。



### 腫瘍内科医師 有山 寛

これまで20年にわたり、がん化学療法に携わり、2023年4月より当院腫瘍内科医師として採用いただき、同時に緩和ケアチームに加えていただきました。進行固形がんに対する化学療法はそれ自体が緩和的な治療であり、緩和ケアとは切っても切れない関係にあります。自分自身まだまだ勉強不足ではございますが、患者さんが普通の日常生活を送りながら、安心して治療を継続できるよう緩和ケアチームの一員として、自身の担当患者さんだけでなく、多くの患者さんに関わっていききたいと思えます。どうぞよろしくお願ひいたします。



### 心療内科医師 平 加奈子

4月から心療内科医として赴任し、緩和ケアチームに参加することになりました。緩和ケアチームとして携わるのは初めてですが、苦痛や苦悩がある中でも生きていく、という点ではこれまでに心療内科で経験してきた患者さんたちと通じるものがあると思っています。少しでも患者さんや家族の力になれるよう頑張りたいと思えます。よろしくお願ひします。



### 作業療法士 比嘉 敏彦

4月より緩和ケアチームの担当になりました、作業療法士の比嘉です。これまで担当していた理学療法士の福島とリハビリ2名体制となります。リハビリと聞くと「運動」を連想される方が多いと思えますが私の役割は、何らかの要因で低下した日常生活動作能力を改善もしくは支援し、その「能力を高めること」です。患者さんの生活に寄り添えるようサポートしていきます。よろしくお願ひします。